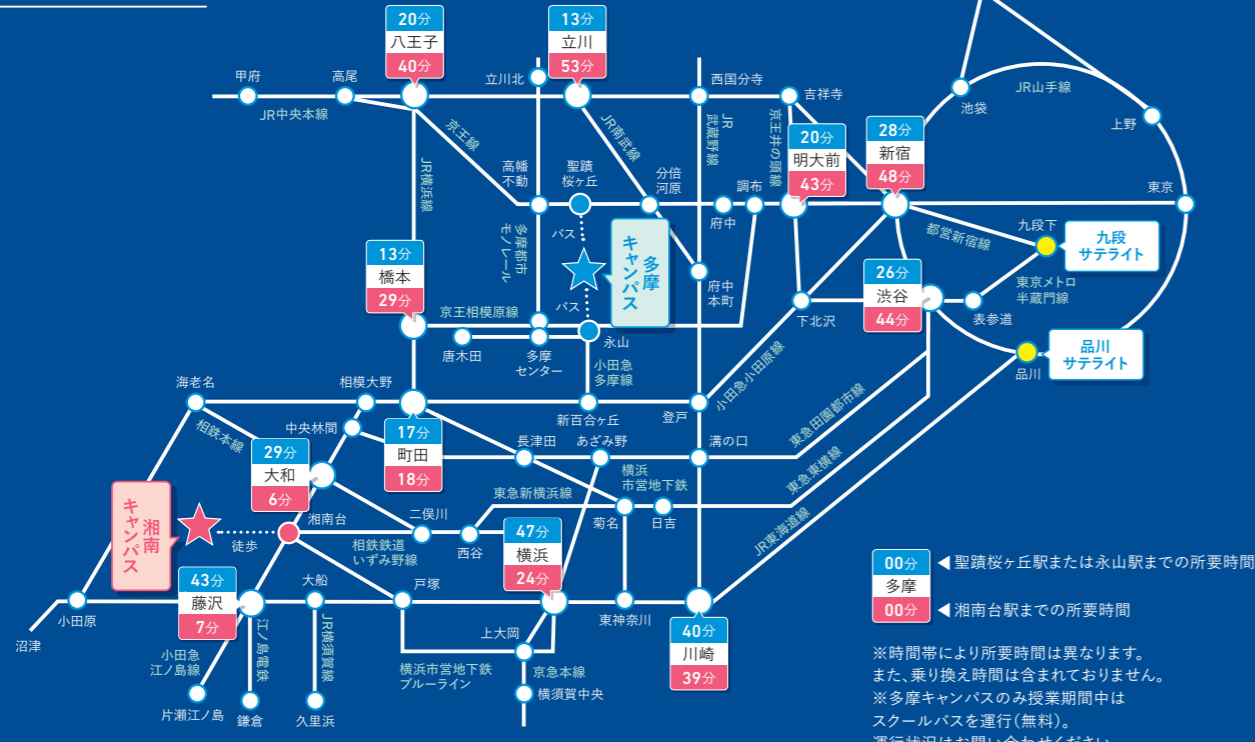


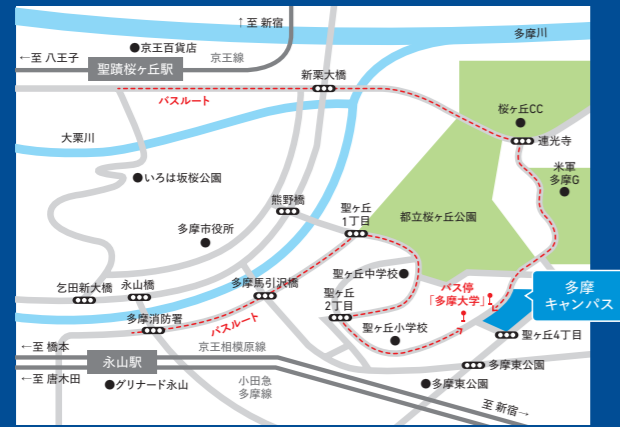
Access Map



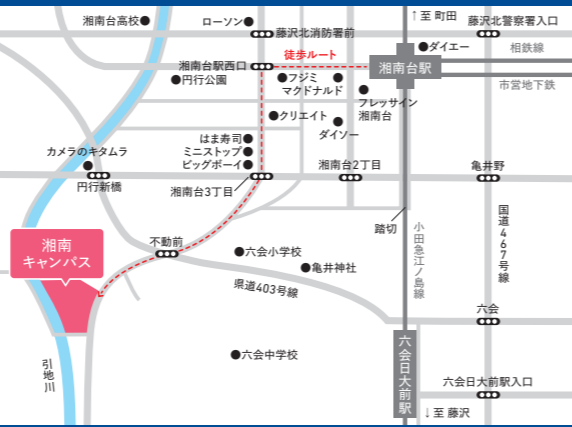
●品川サテライト[大学院]
〒108-0075 東京都港区南2-14-14
品川インターシティフロント5階



●九段サテライト[インターゼミ(学部・大学院)]
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-17



●経営情報学部
[多摩キャンパス]
SCHOOL OF MANAGEMENT AND INFORMATION SCIENCES
〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
tel:042-337-7119(入試課) mail:nyushi@gr.tama.ac.jp



●グローバルスタディーズ学部
[湘南キャンパス]
SCHOOL OF GLOBAL STUDIES
〒252-0805 神奈川県藤沢市内行802番地
tel:0466-83-7911(入試課) mail:nyushi@gr.tama.ac.jp



◎京王線・小田急線「永山」駅 バス乗り場2番
聖蹟桜ヶ丘駅行 [桜06] / 聖ヶ丘団地行 [永34](11分) → 「多摩大学」下車
◎京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅 バス乗り場12番
永山駅行 [桜06] (16分) → 「多摩大学」下車

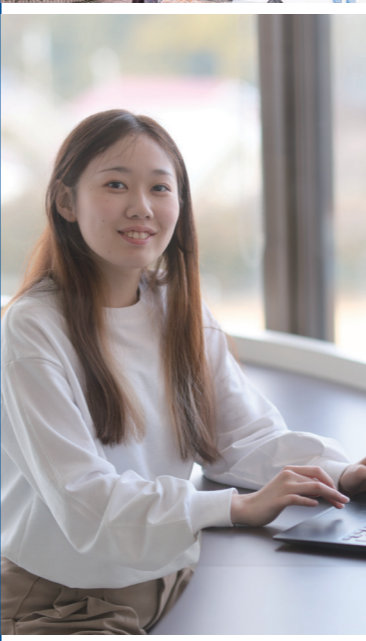
◎小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄
「湘南台」駅下車、徒歩12分
◎小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車、徒歩12分



多摩大学 経営情報学部 ゼミ案内

SEMINAR GUIDEBOOK

School of Management and Information Sciences



▶ 持続可能な世界を実現するために

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までの達成をめざす17の国際目標です。多摩大学経営情報学部のゼミでは「SDGs」の17の目標との関連性を明示し、持続可能な世界を実現するため積極的な取り組みを行っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ゼミindex

ページ ゼミテーマ・担当教員 関連するSDGs

情報デザイン

- 5 「マーケティングを通じた社会貢献」 小西 英行ゼミ **12 4 17**
- 5 「情報社会における倫理」 齋藤 S. 裕美ゼミ **4 8 12**
- 5 「研究で社会貢献！ 連携・協働力を身につけ、社会連携や世代間交流のフィールドで活動するゼミ」 柘刈 洋美ゼミ **4 17 11**
- 6 「情報社会の商品・サービス開発」 新西 誠人ゼミ **8 17 9**
- 6 「通信行動の理解と応用」 菅沼 睦ゼミ **9 4 3**

データ分析

- 6 「AIとデータサイエンスを駆使したビジネス現場における問題解決」 久保田 貴文ゼミ **4**
- 7 「心理学から『買う』『売る』『見せる』を考える」 加藤 みずきゼミ **3 12 4**
- 7 「ビジネス・株式投資に役立つ会計・財務」 望月 明彦ゼミ **4 8 12**
- 7 「データで健康を科学する」 新井 崇弘ゼミ **3 9 11**
- 8 「社会で生きる人々のこころを探求する」 田中 友理ゼミ **10 4 5**

プログラミング (開発)

- 8 「日常生活を拡張する情報技術」 出原 至道ゼミ **17 9 8**
- 8 「DX(デジタルトランスフォーメーション)実現に不可欠な「プラス・セキュリティ人材」を育成」 平山 敏弘ゼミ **9 16 8**
- 9 「エージェントベースモデルと社会シミュレーション」 増田 浩通ゼミ **4 11 9**

アジアユーラシア

- 9 「英語・コミュニケーション」 石川 晴子ゼミ **4 16 17**
- 9 「日本とアジアの『架け橋』になる次世代ビジネス・リーダー養成塾」 巴特爾ゼミ **3 4 8**

※関連するSDGsの番号は、ゼミの学びと関連が深い順に掲載しています。

ページ ゼミテーマ・担当教員 関連するSDGs

経営

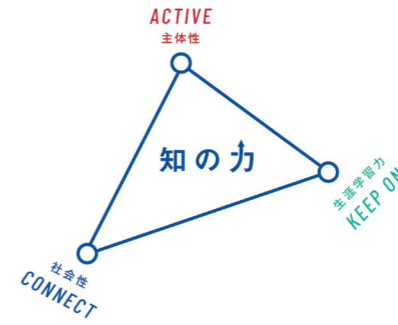
- 10 「アメリカ、ヨーロッパ、そして日本-地域、イシュー横断的テーマの分析と日本へのインプリケーションを探る」 平石 隆司ゼミ **7 9 17**
- 10 「社会を変えるゼミ ~自動運転×防犯×防災×航空~」 樋笠 堯士ゼミ **9 11 16**
- 10 「世界経済と移民社会から現代日本を考える」 水盛 涼一ゼミ **10 8 11**
- 11 「ミライを考える、政策ゼミ -調査から提言までを自分たちで行い、平和のタネをまこう」 高橋 彰ゼミ **16 10 17**
- 11 「外交史から学ぶ信頼関係と相互理解の条件」 駱 豊ゼミ **16 10 4**

地域

- 11 「複眼的見方と歴史観の涵養 -マーケティング・流通・ベンチャー経営-」 趙 佑鎮ゼミ **9 8 16**
- 12 「日本経済論 ~少し頭を使って考えてみよう!~」 下井 直毅ゼミ **8 9 10**
- 12 「『働き方』『働く現場』の今を知る ~日本人学生(企業・公務員)・外国人留学生~」 越田 辰宏ゼミ **8 11 17**
- 12 「『コミュニティ』を活用したキャリア形成」 葛本 幸枝ゼミ **4 8 10**
- 13 「日本の伝統思想を探る」 高橋 恭寛ゼミ **4 3 9**
- 13 「日常にひそむマーケティングを読み解く: 実生活とビジネスの接点」 宮本 純至ゼミ **8 9 11**
- 13 「組織における人間行動をデータで読み解く」 姚 静雅ゼミ **8 3 17**

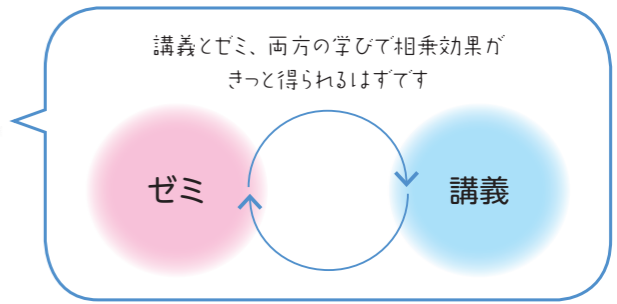
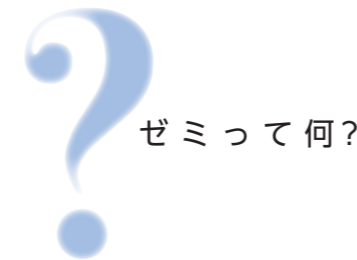
地域

- 14 「『プロデュース力をつける』地域をつなぐの研究(地域連携、地域金融)」 長島 剛ゼミ **11 9 8**
- 14 「『ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの事業構想』 松本 祐一ゼミ **9 11 12**
- 14 「地域のサポーターとしての活動を通じて、地域を元気にするための方策を提案する」 野坂 美穂ゼミ **11 12 9**



▶ 多摩大学が育てる「知の力」

文部科学省では、社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」として、「知識・技能の確実な習得」「知識・技能の習得を基にした思考力、判断力、表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をあげています。人々が100年を生きる時代を迎え、多摩大学では主体性(ACTIVE)、社会性(CONNECT)、生涯学習力(KEEP ON)という3つの視点で、高校までに培った力をさらに向上・発展させ、社会に貢献する「知の力」を身につけた人材を社会に送り出しています。



学生主体の学び

ゼミとはゼミナール(演習)の略称。少人数の学生が、指導教員のもとで、研究テーマについて学んでいくもので、多摩大学における学修の中心となります。文献研究やフィールドワークなど、さまざまな手法で研究テーマを掘り下げていきます。

ゼミの特長

- ◆ 学生主体で学び、自主性が身につきます。
- ◆ 判断力や行動力、決断力などを養います。
- ◆ 広い視野を持ち、能動的に学ぶ人をめざします。

講義の特長

- ◆ 学際性、国際性、現実性を考えたプログラムです。
- ◆ 基礎から専門まで体系的に学ぶことができます。
- ◆ 幅広い教育プログラムを用意しています。

〈ゼミをより知るためのキーワード〉

多摩大学経営情報学部には、プレゼミ、ホームゼミ、インターゼミの3種類のゼミがあり、それぞれ産業社会や地域社会が直面する課題を研究テーマに取り上げ、その解決策を考えるなかで、問題解決の実践力を養います。



経営情報学部では、4年間を通してゼミで学びます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
プレゼミ		ホームゼミ		
ゼミ入門として、自ら学修計画を立て、主体的に学ぶ態度を身につけるとともに、今後、何を学んでいくのか、将来のキャリア形成を考える機会にすることを目的としています。		ホームゼミは2年次から4年次まで、指導教員と少人数の学生が一体となり、特定の専門分野について深掘りしていくもので、知識の修得と能力開発を行い、学生の確実な成長を図ることをめざしています。3年間にわたって学ぶことで、産業や地域などに対する関心を広げるとともに、グループワークを通じてコミュニケーション能力を習得し、問題解決能力を高めていきます。また、ホームゼミは、就職活動をサポートする機能も有していることから、必ず履修することが求められます。		
		インターゼミ(社会工学研究会)		
		インターゼミは、寺島実部長の直轄ゼミナールで、経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の学生、社会人大学院生、卒業生、教員が現代社会の抱える課題について、塾形式で切磋琢磨しながら多様な要素や手法を組み合わせた柔らかな発想で、体系的・総合的な答を志向する総合設計力を身に付けることを目的としています。 →詳しくは4ページへ		



学長 寺島実郎主宰の世代を超えた幅広いテーマの共同研究

インターゼミ (社会工学会)

テーマ「アジアダイナミズム」「多摩学」
「サービス・エンターテインメント」「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」



インターゼミは、多摩大学九段サテライトで開講している学長 寺島実郎の直轄ゼミナールです。ゼミナールの前半は学長によるその週の世界と日本の出来事などの講話、後半は4分野(アジアダイナミズム/多摩学/サービス・エンターテインメント/デジタル・トランスフォーメーション(DX))の研究テーマについて、チームごとにグループ研究を行いチーム論文を書き上げます。チームには学部生・社会人大学院生と10名以上の教員が加わり、世代を超えた共同研究を行います。インターゼミが九段サテライトで実施されているのは、近辺にさまざまな史跡と神田神保町の本町古書店街があるからです。ゼミの前後に史跡や古書店街に足を向け、知性と感性に刺激を与えるというねらいがあります。



情報デザイン

ホームゼミのテーマ

マーケティングを通じた社会貢献

関連するSDGs



学びのキーワード

- マーケティング ● 地域社会活動 ● 利他心

学ぶこと

マーケティングは、今や営利、非営利を問わず、あらゆる組織に必要な活動であり、考え方となっています。本ゼミでは、実際に商品開発や、ビジネスプラン作成、地域貢献活動を実施し、さまざまな角度からマーケティングを実践的に学びます。



身につく力

マーケティング力

マーケティングは、提供者と利用者を双方向に結び付ける活動・考え方です。実践を通じてマーケティング力を学びます。

共創力

メンバーが利他心を持ち、互いに尊重し合いながら、新たな問題を発見・解決する活動を通じて、共創力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「100円ショップのマーケティング戦略」
「ファストファッションの経営戦略」
「無印良品のブランド戦略」
「宮崎アニメの経済効果」など

めざす就職先

メーカー、IT関連企業、流通業、公務員 など

ホームゼミのテーマ

情報社会における倫理

関連するSDGs



学びのキーワード

- 情報モラル ● プライバシー ● メディアリテラシー

学ぶこと

情報モラルやメディアリテラシーについての知識の修得、問題意識の醸成と問題の発見・分析、問題解決方法の考察を行うことを通じて、社会に出て必要となる基礎的理論や考える手法、文章力を身につけます。卒業論文は論文集としてまとめています。



身につく力

調査・分析力

アンケートやインタビューの設計などさまざまな調査方法と、統計など分析方法、根拠を示した上で結論を引き出す分析力を身につけます。

論理的思考力

分析した結果などをレポートや論文、スライド資料などで表現することで、論述する力と論理的思考力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「忘れられる権利に関する国内の現状と諸外国との比較」
「防犯カメラによるプライバシー侵害」
「大学生の漢字能力の変容」
「学校組織における個人情報流出」など

めざす就職先

情報処理、通信、情報サービス、小売・サービスなどの企業、高等学校情報科の教員 など

ホームゼミのテーマ

研究で社会貢献！ 連携・協働力を身につけ、社会連携や世代間交流のフィールドで活動するゼミ

関連するSDGs



学びのキーワード

- 社会連携・地域貢献 ● 地域社会 ● おたがいさま

学ぶこと

社会連携・地域貢献活動を通して実践適用を目指す研究を行います。防災福祉、混在交通、情報モラル等を学ぶゲーム開発や地域社会の課題解決に向けた研究開発を行うことで、「おたがいさま」の考え方を理解します。



身につく力

連携・協働する力

多様性を受け入れる寛容さをもって、地域社会に関わる諸問題の解決に向けて、他者と対話を重ねながら取り組むことができる力を養います。

可能性を広げる力

社会の問題に広く関心をもち、主体的・継続的に学び続けることで、情報化やグローバル化に対応し、自分の可能性を広げることができる力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「防災福祉に関する生涯学習プログラムの開発」

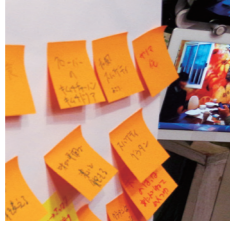
めざす就職先

地方自治体(市役所、小学校・中学校教員)、販売店(家電、自動車、リユース、薬等)、介護事業所、リラクゼーションサロン など

情報社会の商品・サービス開発

学ぶこと

「未来の当たり前」をつくることを目指し、デザイン思考などの創造的思考や情報技術を活用して、未来のサービスや商品の構想とプロトタイプ開発を行います。成果は学会、ビジネスコンテスト、展示会で発表することで、伝える力を身につけます。



新西 誠人 准教授 *Shimishi Makoto*
【プロフィール】多摩大学経営情報学部経営情報学科卒。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科博士後期課程修了、博士（技術経営）。日本電信電話株式会社、株式会社リコーを経て2022年4月より現職。
【主な担当科目】デザイン思考、ユーザインタフェース、図化技術概論、ICTビジネス入門、スタディースキル入門

関連するSDGs



学びのキーワード

- 発想法 ●コラボレーション ●伝える力

身につく力

行動力
研究基礎力

課題に対し、素早く失敗し、試行錯誤しながら解決策を見つける活動を通じ、主体性をもって行動し続ける力を身につけます。

人生100年時代に卒業後も先人の知恵を活用し、最先端の技術を取り入れ続け、目的に合わせて活用するための研究基礎力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「AI Chat」「3DCGアニメーション」「プロジェクトマッピング」など

めざす就職先

商品やサービスの企画、開発職、あるいは情報処理を道具として使う仕事をめざします。起業や大学院への進学も視野に入れます。

通信行動の理解と応用

学ぶこと

情報通信技術・サービスは日々変化を遂げ、私たちに新たな環境を提供しています。そんな情報通信技術に私たちはどのように理解し、使い、行動しているのかを科学的（実験・調査・データ解析）に探究し、より良い情報通信技術のあり方を探ります。



菅沼 睦 准教授 *Suganuma Mutsumi*
【プロフィール】東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了、同博士課程単位取得満期退学。博士（心理学）。早稲田大学国際情報通信研究センター助手、同・助教、早稲田大学大学院国際情報通信研究科講師などを経て現職。
【主な担当科目】調査実験入門、知覚心理学、先端情報技術概論、Webデザイン

関連するSDGs



学びのキーワード

- 通信行動 ●心理 ●データサイエンス

身につく力

探究・問題解決力
実装力

日々のふとした疑問や不満の中に、探るべき問題が潜んでいます。それに気づき（探究）、何をどのように調べていくかを考えていきます（問題解決）。

データを収集するには実験や調査の環境を構築する必要があります。収集したデータの分析・解析も同様です。これらを通してプログラミング能力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「ASMRは脳波に影響があった!?!」「高難易度2Dアクションゲームの製作」「ゲーム体験時の視覚的要因による脳波の変動についての検討」など

めざす就職先

情報通信、小売り、サービス業など、幅広い分野。

AIとデータサイエンスを駆使したビジネス現場における問題解決

学ぶこと

AIとデータサイエンスを活用するスキルを学ぶとともに、その背景となる統計的思考を身につけます。



久保田 貴文 教授 *Kubota Takafumi*
【プロフィール】岡山大学大学院自然科学研究科修了。同大学大学院環境学研究科において博士（学術）を取得。岡山大学法学部、統計数理研究所リスク解析戦略研究センターなどを経て現職。日本計算機統計学会評議員。
【主な担当科目】データサイエンスⅠ（データ活用基礎スキル）、データサイエンスⅣ（多変量解析・分類）、ビジネス数学Ⅰ（線形代数）、AIの活用基礎

関連するSDGs



学びのキーワード

- ビッグデータ ●データサイエンス ●人工知能

身につく力

データサイエンス
統計的思考力

多種多量なビッグデータを分析することで未来の予測や異常の察知等を行い、顧客のニーズに即したサービスを提供できる分析力を養います。

得られたデータの視覚化や分析結果の考察により、統計的に思考する力を養い、それによりこれまで見えていなかった事象を見える化します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「時系列データを用いた日本酒市場の変動分析と若者向けマーケティング戦略」「バズる曲の特徴の傾向とその配信方法について」「サッカーリーグにおけるホームアドバンテージとチーム戦術の関係性について」など

めざす就職先

データサイエンティスト、サービス・インフラ、製造、金融、ソフトウェア・通信、小売などにおけるデータ分析部門 など

心理学から「買う」「売る」「見せる」を考える

学ぶこと

心理学をベースに、消費者行動・広告・宣伝などの疑問に対して研究活動という形でアプローチしていきます。調査や実験のやり方を学びながら、各自で自分の興味関心に基づいた研究計画を立案し、データを取ってまとめていきます。



加藤 みずき 准教授 *Kato Mizuki*
【プロフィール】中央大学文学部人文社会科学科卒、法政大学大学院人文科学研究科に進学し修士号取得（心理学）。専攻は認知心理学・教育心理学で、主に記憶と感情の関連についての研究活動に従事。
【主な担当科目】教育心理学、認知心理学、マーケティング・リサーチ

関連するSDGs



学びのキーワード

- 心理学 ●認知 ●消費者行動

身につく力

収集・分析力
探求力

実験・調査を通じてデータを取り、適切な分析方法で分析し、データから得られた結果についての確な解釈ができるようになることをめざします。

日常生活のなかにある素朴な疑問を一つの研究計画として追究していくことで、何を明らかにするべきか、そのために何が必要かを考える力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「パッケージデザインの色が購買意欲に及ぼす影響」「防災意識と程度量表現に関する調査」「ストーリー内容の違いが無地Tシャツの印象評価に与える影響」など

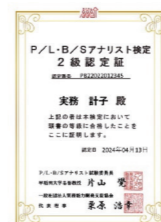
めざす就職先

小売、サービス、通信、広告など幅広い分野の企業。

ビジネス・株式投資に役立つ会計・財務

学ぶこと

ビジネスを会計・財務といった数的視点から分析し、課題と解決策を説明する力を養います。簿記・会計・財務の基本を講義により理解した後、業界分析や企業調査など各自の関心に基づく研究と発表を行います。また多摩祭出店を通じてビジネスプランの策定を経験します。



望月 明彦 准教授 *Mochizuki Akihiko*
【プロフィール】公認会計士。早稲田大学政経学部経済学科卒、慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)修了。2024年4月より現職。上場企業・投資ファンドの監査役、NPO法人日本交渉協会理事、企業向けの会計・財務の研修講師なども兼務する。
【主な担当科目】会計入門、財務会計、初級簿記、中級簿記

関連するSDGs



学びのキーワード

- 会計 ●財務 ●専門知識

身につく力

会計センス
専門知識

企業が発表する会計情報をどう読めばよいのか、社内の会計資料からどのような判断をすべきか、就職してから役立つ会計センスを養います。

自分が興味のある資格試験（会計に限らず）に挑戦します。時間に余裕がある大学時代こそ専門知識を身につけるチャンスです。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「ユニクロとしまむらの財務比較」「企業の経営判断の事例研究」「粉飾決算の事例研究」

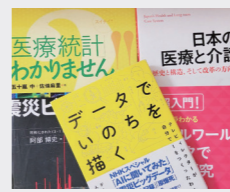
めざす就職先

一般企業、金融機関、コンサルティング会社、ベンチャー企業、起業、会計事務所、税理士事務所 など

データで健康を科学する

学ぶこと

医療・介護・スポーツ・メンタルヘルスなどのさまざまなヘルスケア分野のテーマを扱います。データ分析やChatGPTなどの生成AIを通じたアプローチを身につけます。データビジネス系のコンペ出場を予定しています。



関連するSDGs



学びのキーワード

- ヘルスケア ●データサイエンス ●生成 AI

身につく力

データ分析力
クリエイティブ思考

データの扱い方から分析結果の出力・解釈まで、一連の分析プロセスを養います。

データから新しい洞察を発見し、創造的な解決策を提案する力を養います。従来の方法にとらわれない自由な発想が求められます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「ダイエット食品の口コミデータと健康意識」「禁煙広告に関する統計的分析」「主成分分析を用いた理想のナース服の提案」など

めざす就職先

ヘルスケア産業（医療機関、医薬品・医療機器、ヘルステック企業、ヘルスケアコンサル、スポーツ関連団体）、公務員、NPO など

社会で生きる人々のこころを探求する

学ぶこと

心理学の知見を学ぶことで、社会で生きる人々の行動について分析できるようになります。自分が興味を持った社会行動について実験や調査でデータを収集し、それによって何が言えるかを考えることで、人や社会に対する理解を深めます。



田中 友理 専任講師 Tanaka Yuri
【プロフィール】 明治学院大学心理学部卒、名古屋大学大学院環境学研究科に進学し修士号取得（心理学）。専攻は社会心理学で、主に偏見や差別、道徳判断についての研究をおこなっています。
【主な担当科目】 マーケティング・データ分析、マーケティング・データ分析実践、スタディースキル入門、社会心理学

関連するSDGs



学びのキーワード

●心理学 ●社会行動 ●対人関係

身につく力

人間理解力

心の動きという観点から人の社会行動を捉え直すことで、自分とは異なる他者を理解し、多様性を尊重できる素地づくりを目指します。

論理的思考力

先行研究の知見から何が言えるか、データがどのように解釈できるかを考える訓練を通じて、根拠に基づいて主張する能力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「同調志向と関連する特性の検討」「性差による男性役割規範と援助要請の関連」「チームアイデンティフィケーションが自チームへの攻撃行動に与える影響」など

めざす就職先

一般企業、NGO・NPO、公務員等。特に、課題発見能力やデータ分析能力等、個人の能力や強みを発揮できる組織。

日常生活を拡張する情報技術

学ぶこと

バーチャルリアリティ・画像処理・ウェブアプリケーションなどの技術を中心に、新しい技術を自力で理解してそれを実装し、発表してもらいます。また、フランスの提携校との交流によって、多様性と、その先にある人間性の理解を期待しています。



出原 至道 経営情報学科長・教授 Idehara Norimichi
【プロフィール】 工学博士（東京大学）。多摩大学助手、非常勤講師、助教授、准教授を経て、教授。専攻は、都市工学。第一種情報処理技術者。日本VR学会。
【主な担当科目】 IT活用法、Webサービス開発、Webプログラミング実践、クラウドサービス活用、経営シミュレーションゲーム、プログラミング入門、経営情報論

関連するSDGs



学びのキーワード

●実装力 ●学び続ける力 ●人間性の理解

身につく力

学び続ける力

情報技術はどんどん新しくなるので、社会に出た後も学び続けることが求められます。社会人として、主体的に学ぶための能力を身につけます。

実装力

アイデアを出すだけでは、課題は解決しません。外部のコンテストへの応募を通じて、プロジェクトを管理する力、チームで動く力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「表情の感情認識による対人関係の評価」「VR技術を利用した変身体験システム」など

めざす就職先

情報技術による課題解決において競争力を持ち、社員が向上心をもって学び続けている組織。

DX（デジタルトランスフォーメーション）実現に不可欠な「プラス・セキュリティ人材」を育成

学ぶこと

DX時代に必須の人材として、平山が生み出し、今や国の政策にも取り入れられている「プラス・セキュリティ人材」になるため、経営（ビジネス）と情報（セキュリティ）の視点より、産官学の取り組みや連携を通じて情報社会に必要な力を養います。



平山 敏弘 教授 Hirayama Toshihiro
【プロフィール】 國學院大学経済学部卒業後、日本アイビーム入社以来、インターネット黎明期に数多くのインターネット関連システムを構築。Webシステムを担当することから、当時まだ専門家がほとんどいなかった情報セキュリティの世界に従事。その後、アクセンチュアでセキュリティ・プリンシパルディレクターとして活動。一方、国家サイバー統括室や経済産業省などの国のセキュリティ関連の委員会委員を歴任。2020年情報経営イノベーション専門職大学開学時より教授に就任後、2026年4月より現職。
【主な担当科目】 情報セキュリティ、情報工学概論、コンピュータネットワーク活用、経営情報論

関連するSDGs



学びのキーワード

●プラス・セキュリティ ●自分ごとのサイバーセキュリティ ●セキュリティは経営課題

身につく力

コンサルティング力

コンサルタントの実務経験を伝授し、コンサルタントに必須の能力である脅威分析やリスクアセスメント力を身につけます。

利活用能力

ITおよびセキュリティは知識を身につけただけではダメです。疑似演習などを通じて実際に使えるスキルを磨きます。

経営視点でのセキュリティ

サイバー攻撃を受け企業が倒産に追い込まれる可能性もある現在、経営視点でセキュリティを語る人材に育成します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「Society5.0における個人への脅威増大と、日本のセキュリティ対策に潜む構造的矛盾の分析」「故人の個人情報におけるプライバシー保護とデータ活用モデルに関する研究」「日本の中小企業における情報セキュリティリスクの特定と対策」など

めざす就職先

総合コンサルティングファーム、大手コンピュータ関連企業、システムインテグレーター(Sier)、外資系グローバル企業、セキュリティ関連企業

エージェントベースモデルと社会シミュレーション

学ぶこと

増田ゼミは2012年にできました。多摩大学フットサル部と同じ年です。ゼミではプログラミングや社会シミュレーションを中心に基本的なICT分野の勉強をしています。具体的にはPythonプログラミング、ExcelのMOS試験対策、ITパスポートの勉強などをします。



増田 浩通 准教授 Masuda Hiroyuki
【プロフィール】 武蔵工業大学（現：東京都市大学）工学部経営工学科卒、東京工業大学大学院価値システム専攻博士後期課程修了。博士（工学）。東京理科大学嘱託助手、東京工業大学研究員・非常勤講師、千葉工業大学プロジェクトマネジメント学科助教を経て現職。
【主な担当科目】 経営科学、ICTコミュニケーション入門・実践

関連するSDGs



学びのキーワード

●シミュレーション ●論理的思考 ●プログラミング

身につく力

情報活用能力

経営情報システム、経営科学、複雑系などをベースに、情報を基盤とした実践的なマネジメントの方法論や意思決定の教育を行います。

システム思考力

物事を筋道立てて考える論理的思考や物事の深層での因果関係を明らかにしようとするシステム思考ができる人材を育てたいと考えています。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「多摩地域における防災および避難シミュレーションについて」「多摩大学近辺を対象とした、災害に強いコミュニティデザインの研究」など

めざす就職先

情報通信業、情報サービス業の企業に就職した学生が多いです。過去に多摩大学大学院、青山学院大学大学院に進学した学生がいました。

英語・コミュニケーション

学ぶこと

英語力アップのための学習、英語検定試験（特にTOEIC）へ向けた学習、近隣小学校での英語教室などの活動を行っています。人と関わることの多いゼミです。ことばを学ぶことは、さまざまな文化、物の見方、価値観の違いを知ることにつながります。



石川 晴子 教授 Ishikawa Haruko
【プロフィール】 関東学院大学文学部英米文学科卒、University of York (UK) にてM.A.とPh.D.（言語学）取得。専門は言語学（統語論）。
【主な担当科目】 English Expression I・II、TOEIC I・II

関連するSDGs



学びのキーワード

●英語 ●異文化コミュニケーション ●地域社会活動

身につく力

コミュニケーション力

さまざまな年代、背景を持つ人と関わるなかで、相手の目線で考え、相手によってコミュニケーションの取り方を工夫する力をつけます。

柔軟性

地域活動や言語学習を通し、広い視野を身につけるとともに、さまざまなシチュエーションに柔軟に対応する力をつけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「韓国に学ぶ日本の英語教育」「日本アニメがアメリカで人気の理由」「日本におけるオートバイ産業の歴史的考察」英語教室用教材制作 など

めざす就職先

海外に関連のある企業（観光、サービス、IT、教育、広告、流通、メーカーなど）、教育関係 など

日本とアジアの「架け橋」になる次世代ビジネス・リーダー養成塾

学ぶこと

文献研究とフィールドワークを通じて日本企業のビジネスの視点からアジア・大中華圏に関する情報の収集（時事問題、業界・企業など）・分析・発表・提案を行うなど、「伝える力」と「課題解決力」を磨く。研究発表、フィールドワーク論文(卒業論文・発表)作成を行う。



巴特尔 教授 Baatar
【プロフィール】 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程修了、同博士課程単位取得満期退学（学術博士）。専門は、中国・大中華圏マクロ経済、東アジア国際関係。
職歴：(株)三井物産戦略研究所
【主な担当科目】 中国語圏の社会、華僑華人経済論、中国経済論、東アジア入門

関連するSDGs



学びのキーワード

●グローバルビジネス ●日本とアジア・大中華圏 ●情報分析

身につく力

伝える力

情報の収集・分析力を磨き、自分の考えや意見を他人に論理的かつ説得力のある形で伝える力（コミュニケーション力）を身につける。

課題解決力

文献調査とフィールドワークを通じて日本とアジアの経済動向や特定業界の課題の発見・分析力を磨き、課題解決力を身につける。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「地域金融の未来とZ世代～金融との距離を縮める仕組みと意識変化の検証～」[ギャルネイルにみる日本人女性の自己表現と美意識]「日米スタートアップ企業におけるSNSマーケティング戦略の比較研究～グローバル展開の鍵と日本への示唆」[Jリーグによる地方創生の可能性～地域密着型クラブの社会的役割に関する考察]「睡眠リズムの変化による社会人のパフォーマンスに与える影響」など

めざす就職先

多国籍企業、大手旅行代理店、製造業、貿易、証券、地域金融、IT、流通、食品、不動産、アパレル、大手会計事務所 など

ホームゼミのテーマ

アメリカ、ヨーロッパ、そして日本 —地域、イシュー横断的テーマの分析と日本へのインプリケーションを探る—

学ぶこと

アメリカとEUの政治経済の基礎知識を身につけ、その後政治、経済、産業、安全保障、外交等、各地域の個別テーマや、地域、イシュー横断的テーマをとりあげ、文献リサーチやフィールドワークを進め、最終的に日本へのインプリケーションを探ります。



平石 隆司 教授 Hiraishi Ryuji
【プロフィール】慶応義塾大学法学部政治学科卒。国際関係論専攻。三井物産調査情報部、三井物産戦略研究所にて、日米欧を中心に、地域横断的政治、経済、産業、貿易、企業、そして地政学的リスクの分析に取り組み、経営幹部、事業部との密な意見交換に基づき、三井物産の経営環境調査や中長期のビジネス戦略策定支援に従事。この間、ワシントンDC (2年間)、ロンドン (11年間) 勤務。
【主な担当科目】 現代欧州論、現代米国論、経済学入門、グローバルビジネス入門

関連するSDGs



学びのキーワード

- アメリカ、ヨーロッパと日本
- グローバルイシュー ● インテリジェンス

身につく力

分析力・
解の探求力

課題に対し、情報を収集し、経済、産業、社会、政治、地政学等を総動員し、論理的に分析、最終的に現実解を提示する、解の探求力を身につけます。

発信、プレゼン
テーション力

正しい答えを見つけても、最終的に行動に結びつけなければ意味がありません。「顧客」に興味を持たせ、正しく理解させ、行動を促すための、発信力を鍛えます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「ヨーロッパの環境政策と日本へのインプリケーション」「イギリスのEU離脱と今後の展望」「米国の対アジア政策の変遷～対中、対日を中心に～」

めざす就職先

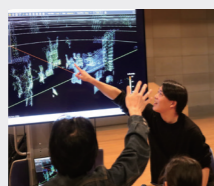
グローバルビジネスを展開する企業（総合商社、自動車、エレクトロニクス、運輸、小売、観光、金融等）、公務員、教員

ホームゼミのテーマ

社会を変えるゼミ ～自動運転×サイバー防犯×ロボット～

学ぶこと

種々ゼミは、サイバー防犯、自動運転、ヒューマノイドロボットなどをテーマに、サイエンスコミュニケーションと研究でより良い社会をつくるゼミです。国土交通省や内閣府の補助金事業で実験を行ったり、国家プロジェクトの電動キックボードの研究をしたり、警視庁とコラボしてサイバー空間の安全対策を行っています。



樋笠 亮士 准教授 Hikasa Takashi
【プロフィール】上智大学法学部法律学科卒業。中央大学大学院法学研究科修了、博士(法学)。国家プロジェクトの代表を複数務め、自動運転やヒューマノイドロボットの研究を行う。ISOの国際規格の日本代表として活躍。アメリカ国務省やイギリス王立工学アカデミーなどが選ぶ次世代リーダーに選出されている。

関連するSDGs



学びのキーワード

- AI 自動運転
- 防犯設計 ● 防災

身につく力

問題解決力

社会の問題点を見つけて、原因を分析し、解決する研究をします。行政への提言や企業への提案を行うことで、プレゼン力はもちろん、対人ビジネススキルの経験が得られます。また、何より、社会を変えることができます。

法的思考力

法律の知識で問題を解決する段階的思考である法的思考力が身につきます。社会課題の背後にある法的状況を把握して、最適なアプローチを選び出す力が得られます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「自動運転の観光利用」「公園の配置と防犯環境設計」「防災教育ゲームの学修効果」「自動配送ロボットとまちづくり」

めざす就職先

金融、公務員（市役所・警察）、交通（物流・自動車ディーラー）、サービス業、情報、観光、まちづくり、建築、運送、小売、警備会社 など

ホームゼミのテーマ

世界経済と移民社会から現代日本を考える

学ぶこと

日本は2007年に超高齢社会 (Super-aged Society) の段階へ突入、労働人口の減少は喫緊の課題です。しかも世界人口は増加、国際競争が加速しています。そのような日本の未来を、企業の海外進出および日本への移民から考えます。



水盛 涼一 准教授 Mizumori Ryohichi
【プロフィール】千葉大学文学部史学科卒、東北大学大学院文学研究科にて修士・博士（ともに文学）を取得。専門は近現代中国の研究。
職歴：東北大学大学院、宮城学院女子大学、東北学院大学、尚絅学院大学、福島大学大学院、宮城教育大学、東京国際大学
【主な担当科目】 アジアと日本の歴史、中国語Ⅰ・Ⅱ

関連するSDGs



学びのキーワード

- 調査（文献・フィールドワーク）
- 体感（視聴覚） ● 発表（成果整理）

身につく力

交渉調査力

文献研究を手始めに、在日外国人取材や各国大使館訪問といったフィールドワークを通して就職後に使える交渉や調査の能力を身につけます。

発表執筆力

調査を踏まえ、折に触れて発表を行い、レポートそして卒業研究を執筆します。その際には多角的でしかも深度を兼ね備える分析をめざします。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「日米企業のCSR・SDGs対応」「アジア圏テーマパーク比較研究」「日中外食産業変遷史」「世界のウェブ配車とタクシー業界の対応」など

めざす就職先

国際関係関連企業（観光・交通・運輸・流通・小売・サービス・不動産など）、公務員、教員、NGO・NPO など

ホームゼミのテーマ

ミライを考える、政策ゼミ —調査から提言までを自分たちで行い、平和のタネをまこう

学ぶこと

「平和」ってなんだ？ 国内外の課題（紛争、気候変動、子育て、ジェンダー、貧困など）の解決に向け、①政策課題レビュー、②対策検討、③データやデザイン性の高いポリシーブリーフ（政策啓発パンフ）の作成方法やプレゼンスキルを学びます。



高橋 彰 専任講師 Takahashi Akira
【プロフィール】厚生労働省（国家種法務職）で新型インフルエンザや東日本大震災対応など、危機管理や省内統括部門を中心に勤務。退職後、英国グラスゴー大学で国際安全保障学（社会・文化論）の修士号取得。帰国後、参議院議員の秘書として、政策提言や議員立法などに従事。エジンバラ大学博士課程(中退)を経て、株式会社博報堂で大型公共事業の中核チームなどを担当した。官僚、議員秘書、民間企業をまたいだユニークな実務経験と海外大学院での研究を担当科目に活かし、実践的なパブリック人材の育成を行う。
【主な担当科目】 国際関係論、時事問題研究基礎・実践、ビジネススキル基礎

ホームゼミのテーマ

外交史から学ぶ信頼関係と相互理解の条件

学ぶこと

外交とは、背景の異なる者同士が意思疎通を図る「究極のコミュニケーション」です。歴史の知恵をヒントに、相手の立場に立つ想像力を磨き、現代のビジネスや社会で不可欠な相互理解の条件を、共に探求していきましょう。



駱 豊 専任講師 Luo Feng
【プロフィール】早稲田大学社会科学部研究科修士課程、博士後期課程修了、博士（社会科学）。専門は近現代外交史。早稲田大学助手・助教、二松学舎大学、多摩大学非常勤講師を経て2026年4月より現職。
【主な担当科目】 グローバルヒストリー、日本事情Ⅱ、ビジネス数学基礎、ビジネススキル基礎

関連するSDGs



学びのキーワード

- 平和学 / 戦争学 ● 公共政策
- DEI (多様性・公平性・包摂性)

身につく力

デザイン力

内容に加え、デザイン性や共感性を意識した制作物・発表を行い、発信力を高めることで、実際に社会にインパクトを与えようとする活動を目指します。

プロジェクト力

基礎知識、プロジェクトマネジメント、ロビー活動、社会啓発活動やEBPM等を学び、実践的なパブリック・プロジェクトスキルを身につけることを目指します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「トランプ大統領の反DEI（多様性・公平・包摂性）施策のインパクト」「若者による平和構築は可能か？」「熊本地震にみる防災と福祉の連携」

めざす就職先

公務員、NGO、民間企業、国際機関など。華やかでなくとも「正直にいい仕事をする」と評される社会人に育ってほしいと考えています。

関連するSDGs



学びのキーワード

- 外交史 ● グローバルヒストリー
- 多文化コミュニケーション

身につく力

理解力

物事の背景や文脈を多角的に捉えることで、情報の真偽を見極め、本質を正しく理解する能力を磨きます。

コミュニケーション力

自分と異なる背景や価値観を持つ相手を理解するための「共感性」と「対話力」を育みます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「[パンダ外交]の効果検証」「ネット上の『分断』をどう乗り越えるか」「多文化共生時代の店舗運営」など

めざす就職先

一般企業（とくに情報通信関係）、教育、公共サービス など

ホームゼミのテーマ

複眼的見方と歴史観の涵養 —マーケティング・流通・ベンチャー経営—

学ぶこと

ケーススタディーを通じて組織論・戦略論・ベンチャー企業論・マーケティング・流通論について勉強をしている。また、「歴史」と「韓国論」を中心とする教養をベースに複眼的見方を備えるようにしている。



趙 佑鎮 学長室長・教授 Cho Woo-Jin
【プロフィール】韓国延世大学経営学部卒業後、慶應義塾大学大学院商学研究科前期・後期博士課程修了（商学博士）。
職歴：(社) 韓国人間開発研究院、(株) かながわサイエンスパーク、青森公立大学
【主な担当科目】 アントレプレナーシップ論、韓国語Ⅰ・Ⅱ、マーケティングマネジメント論

関連するSDGs



学びのキーワード

- マーケティングマネジメント論
- 小売流通 ● 韓国論

身につく力

構想力

事業構想に必要なものは、複雑な経営環境の先を見通す目、多様な専門と教養領域からの知識を融合する力であり、これらを意識した学習研究を行う。

実践力

問題を発見し、その問題を解決する最も重要な源泉は実践である。そのベースとなる、ヒトと共感する能力と哲学、行動する勇気を涵養する。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「マーケティングマネジメント」「小売流通企業」「サプライチェーンマネジメント」「消費者行動」「韓国企業」「韓流文化」など

めざす就職先

小売流通（百貨店、スーパー）、サービス（ホテル、大手レストラン、介護）、メーカー、IT、マーケティングコンサルタント など

経営

ホームゼミのテーマ

日本経済論 ～少し頭を使って考えてみよう！～

学ぶこと

ミクロ経済学、マクロ経済学のほか、基礎的な統計学の知識を身につけます。身近で具体的な経済・社会現象を取り上げて、データ等を使って論理的に読み解いていくゼミです。テキストを用いて基礎知識の理解を深めた上で、グループ討論を行います。



下井 直毅 事業構想学科長・教授 Shimoi Naoki
【プロフィール】 東京大学経済学部卒。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。専攻は国際経済学。
職歴：日本経済国際共同研究センター、(独) 日本学術振興会、(公財) 総合研究開発機構 (NIRA)、ビジネス・ブレークスルー大学大学院
【主な担当科目】 ミクロ経済学、マクロ経済学、金融論、国際経済学

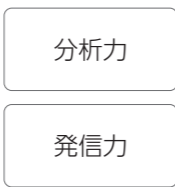
関連するSDGs



学びのキーワード

●日本経済 ●世界経済 ●読解力

身につく力



分析力 現象を的確に捉え、そこから何が読み取れるのかということ、データ等を使って分析し、結論を導き出す力を身につけることができます。

発信力 ゼミでの発表や討論・議論を通じて、自分の意見や考えを、適切にわかりやすく伝えることができる力を身につけることができます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「今後の日本経済の成長に向けて欠かせない要因は何か」「世界の貧困をなくすには、何が必要なのだろうか」など

めざす就職先

卸売・小売、通信、運輸、金融など、幅広い分野の企業

ホームゼミのテーマ

「働き方」「働く現場」の今を知る ～日本人学生（企業・公務員）・外国人留学生～

学ぶこと

業界・企業・公務員の調査分析や現場訪問を通じて、「働き方」「働く現場の今を知る」ことを探求していきます。現代の多様な働き方（性別・年齢・国籍など）に関する社会課題や地域課題を考えていきます。就業体験（インターンシップなど）を通じて職業観を養います。



越田 辰宏 教授 Koshita Tatsuhiko
【プロフィール】 不動産会社に勤務後、国家公務員として内閣府に入府。総務省・国土交通省・警察庁に出向・在籍。青山学院大学大学院国際政治学修士、多摩大学大学院経営情報学修士・博士課程後期単位取得満期退学。国家資格キャリアコンサルタント、行政書士、宅地建物取引士資格を取得。内閣府参事官補佐を経て2024年より現職。
【主な担当科目】 キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ、インターンシップⅠ・Ⅱ、スタディースキル入門

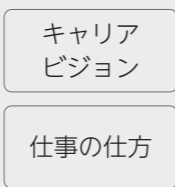
関連するSDGs



学びのキーワード

●キャリア（自己理解・仕事理解）
●異文化理解・経営 ●インターンシップ

身につく力



キャリアビジョン 将来のキャリア・職業に対するビジョンについて、自分なりの意味を見出す力とともに、社会を生き抜く力を身につけます。

仕事の仕方 インターンシップなどへの参加を通じて、働くこと・課題解決力・ビジネスマナーなど必要な能力・スキルを身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「企業と公務員の人材育成の比較分析」「外国人留学生の就職についての現状と課題」「新卒者の就職活動実態調査報告」など

めざす就職先

企業、公務員、公共サービスに関わる仕事、多国籍企業 など

ホームゼミのテーマ

「コミュニティ」を活用したキャリア形成

学ぶこと

【「どう生きるのか」を考え、自らの行動変容につなげる】自分のキャリア（働き方・生き方）を考えるために、様々な側面から分析します。身近な課題をテーマにしたイベント企画運営や先輩・社会人インタビュー等を通して自己理解・仕事理解を深める力を身につけます。



葛本 幸枝 准教授 Kuzumoto Sachie
【プロフィール】 法政大学大学院キャリアデザイン学研究所修士課程修了、修士（キャリアデザイン学）。公認心理師、キャリアコンサルタント。
職歴：NEC日本電気(株)、NECライフキャリア(株)、お茶の水女子大学、公立大学法人宮城大学、二松学舎大学、カリタス女子短期大学など
【主な担当科目】 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ、スタディースキル入門、ビジネススキル基礎

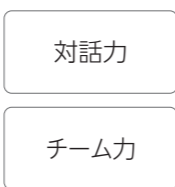
関連するSDGs



学びのキーワード

●キャリア ●自己理解・仕事理解
●実践心理学

身につく力



対話力 相手を尊重した聴く態度を身につけるとともに、相手に合わせた伝え方や質問力を磨きます。

チーム力 グループワークやイベント企画などを通して、メンバーと信頼関係を築き、共創（多様な人々と共に、新しい価値を生み出す）を目指します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「大学におけるコミュニティとキャリア形成」「キャリアレジリエンス強化による就職活動への効果」「学びを促進する場づくりの効果」など

めざす就職先

業界・職種を問わず、自分に合う組織を見つけ、満足のいく就職を目指します。

ホームゼミのテーマ

日本の伝統思想を探る

学ぶこと

アジアのなかで日本の位置付けを考えていくためにも、材料がなければ始まりません。まずは、日本にはどのような思想・文化があったのか。今の時代を知るために、過去から学んでいきましょう。



高橋 恭寛 准教授 Takahashi Yasuhiro
【プロフィール】 東北大学大学院文学研究科にて博士（文学）を取得。専門は日本思想史・日本倫理想史・日本教育思想史。
職歴：宮城県岩沼市教育委員会、東北大学大学院、東日本国際大学
【主な担当科目】 経営思想史、哲学入門、ビジネススキル基礎、アジアと日本の歴史、世界の宗教

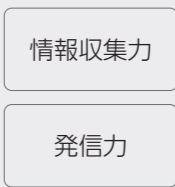
関連するSDGs



学びのキーワード

●日本文化 ●多文化コミュニケーション ●歴史

身につく力



情報収集力 あるテーマについて、自分が何をどのように調べればよいか、見つけてきた情報の活用も含めた情報収集の力を身につけていきましょう。

発信力 調べた結果、自らがまとめたものをどのようにして他者にもわかってもらえるのか、発表などを通して発信することの大切さを知りましょう。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「外から見た日本のイメージの今昔」「日本のサブカル文化をふりかえる」「21世紀におけるFolkloreの行方」など

めざす就職先

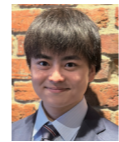
広告・印刷・出版など情報通信関係、教育・学習支援業、生活関連サービス業、複合サービス業 など

ホームゼミのテーマ

日常にひそむマーケティングを読み解く： 実生活とビジネスの接点

学ぶこと

マーケティングに関する様々な研究領域を、座学とフィールドワークを通して学ぶゼミです。文献購読やグループワーク、分析ツールとしてのプログラミング（希望者）など、多様な方法で学習します。また、学外にも飛び出し、実学に触れる機会も設けます。



宮本 純至 専任講師 Miyamoto Junji
【プロフィール】 慶應義塾大学経済学部卒。慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了、後期博士課程単位取得退学。2025年4月より現職。専門は、消費者行動論、流通論、グローバル・マーケティング。
【主な担当科目】 マーケティングマネジメント論、ブランドマネジメント、流通論

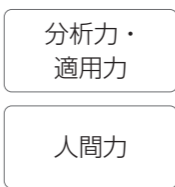
関連するSDGs



学びのキーワード

●消費者行動 ●小売
●マーケティング ●サイエンス

身につく力



分析力・適用力 理論や分析手法など、インプットした知識を用いて思考し、アウトプットとして実際の現象に応用することで、実践的な分析力と適用力を養成します。

人間力 マーケティングでは、取引先企業や消費者など、相手の立場に立って物事を考えることが求められます。ゼミ活動を通じた人間力の向上も目指します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「消費者による小売店舗の使い分け」「コロナ禍後の百貨店の経営戦略」「グローバル・ブランドの戦略」「日本のブランディング戦略」「Z世代の消費者行動」など

めざす就職先

卸売や小売、メーカー、サービス、IT、コンサルティング、広告、観光など、マーケティングにかかわる幅広い分野の企業や官公庁。大学院進学希望者も歓迎します。

ホームゼミのテーマ

組織における人間行動をデータで読み解く

学ぶこと

組織で働く人々の行動を主題とし、モチベーション理論やリーダーシップ論などを体系的に学びます。さらに定量調査や定量データ分析から理論と実証を結びつけた根拠に基づく課題を発見し、より良い働き方や組織を考察する力を養います。



姚 静雅 専任講師 Yao Jingya
【プロフィール】 中国・四川大学を卒業後、会社員と国家公務員を経て、2016年に日本に留学。名古屋大学大学院経済学研究科博士前期課程を修了し、修士（経済学）を取得。その後、同大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程を修了し、博士（心理学）を取得。愛知みずほ大学人間科学部に勤務した後、2026年4月より現職。
【主な担当科目】 組織行動論、日本事情Ⅲ、ビジネス数学基礎、特別講座Ⅱ、スタディースキル入門、ビジネススキル基礎

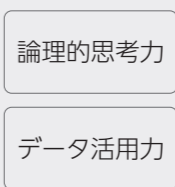
関連するSDGs



学びのキーワード

●組織行動論 ●産業・組織心理学
●定量的研究

身につく力



論理的思考力 組織や人の行動を構造的に捉え、理論的枠組みとデータを根拠に考察し、因果関係や背景要因を整理して説得力ある結論を導く力を養います。

データ活用力 定量調査によるデータ収集・分析結果から、組織や社会の課題を客観的に発見し、具体的に実行可能な改善策や意思決定につなげる力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「職場における心理的安全性と生産性の関係」「リーダーシップスタイルが部下の職務満足度に与える影響」など

めざす就職先

一般企業、NGO・NPO、公務員等、特に人事・組織開発を担う企業および人材業界 など

ホームゼミのテーマ

「プロデュース力をつける」
地域をつなぐ力の研究 (地域連携、地域金融)

学ぶこと

名刺を作り、大学から飛び出して実社会のさまざまな事業活動の場に訪問します。同時に、東京多摩地域や神奈川県産業や行政、地域金融機関の支援策などを研究します。企業やNPO、行政、金融機関のイベントやマッチングをプロデュースします。



長島 剛 教授 Nagashima Tsuyoshi
【プロフィール】法政大学大学院社会学研究科卒業。多摩中央信用金庫入社。2011年価値創造事業部部長、2017年地域連携支援部長。自治体や大学、NPO等とのネットワークづくりに多数関わる。東京都立大学客員教授。一般財団法人日本フィナンソロピー協会理事。2019年から現職。
職歴：多摩信用金庫
【主な担当科目】 地域金融論、多摩学、事業構想最新事情、ビジネスモデル設計

関連するSDGs



学びのキーワード

● 地域連携 ● 地域金融 ● 課題解決

身につく力

現場力

現場ではたくさんの出会いがあります。コミュニケーションしながら質疑を重ねていくなかで力がついていきます。

プロデュース力

自主的に責任を持って活動することで、企画力、構想力をはじめ、社会課題の把握力、実践的な課題解決力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「東京多摩地域」「神奈川県産のニッチトップ企業」「創業支援の現状と今後」「地域金融機関のこれから」など

地域+現場+つなぐ力をキーワードにテーマ設定

めざす就職先

社会課題や地域課題を解決する企業や団体。地域の優良企業、ニッチトップ企業を中心に、行政やNPOなど。将来的には起業も視野に。

ホームゼミのテーマ

ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの
事業構想

学ぶこと

将来、創業・起業したい、家業を継ぎたい、企業で商品開発や新規事業構想に関わりたいという学生を対象に事業構想に関する考え方や方法を学びながら、地域や社会の課題を解決するビジネスやしくみを企画し、自分たちで実践していくことをめざします。



松本 祐一 教授 Matsumoto Yuichi
【プロフィール】専門はソーシャルマーケティング。学生時代にNPO立ち上げを経験後、市場調査会社で商品開発に携わり2005年から多摩大学総合研究所勤務。2019年4月より現職。多摩地域を中心に企業、行政、NPOの事業構想支援に従事し、セクターを超えた「協創」をコーディネートしている。
【主な担当科目】 NPO・NGO論、事業構想論、事業構想実践論、ソーシャルマーケティング

関連するSDGs



学びのキーワード

● 事業構想 ● 商品開発 ● 地域活性化

身につく力

事業構想力

地域や社会の課題をとらえ、その解決のためのビジネスやしくみを、コンセプトとビジネスモデル両面から構想する力を身につけます。

協創力

多様な人が集まるチームで成果を生み出すこと、企業・行政・NPOという異なる人たちと協力して新しいものを生み出す力を磨きます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究・卒業制作テーマ

「不登校が地方創生」「大学版昼寝サロン」「方向音痴向け地図アプリ」「愚痴の言い合える飲食店」「VRデリバリーサービス」など

めざす就職先

起業家・創業者、家業の承継、企業の商品開発・新規事業構想部門、ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス、NPO、地方自治体 など

ホームゼミのテーマ

地域のサポーターとしての活動を通じて、
地域を元気にするための方策を提案する

学ぶこと

多摩地域のイベント・プロジェクト等へ参加し、地域の方々との対話を重ねることで、地域を元気にするための方策を学生自らが提案します。同時に、「経営学」「産業組織論」を中心に学び、地域を支える産業や個々の企業の役割および重要性を理解します。



野坂 美穂 准教授 Nosaka Miho
【プロフィール】専門は、地域振興・経営学（戦略論・組織論）。慶應義塾大学大学院商学専攻科修士課程修了（経営学専攻）、中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程修了（博士：総合政策）。淑徳大学（兼任講師等）、中央大学ビジネススクール助教を経て、現在に至る。
【主な担当科目】 地域産業論、経営戦略論、経営学管理入門

関連するSDGs



学びのキーワード

● 地域振興 ● 経営学（戦略論・組織論） ● フィールドワーク

身につく力

問題解決力

地域の課題が何であるかを発見し、それを明確に定義、その課題を論理的思考によって分析し、解決に向けてできることを考え、実践につなげます。

チーム力

共通の目的を達成するために、自分自身の果たす役割やどのように貢献できるかを常に考えながら行動し、チームメンバー間での信頼を醸成します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「渋沢栄一の経営哲学」「サブスクリプション型ビジネスモデルの収益性に関する研究」「都市部におけるアンテナショップの役割と課題」など

めざす就職先

製造業、卸売業、小売業、宿泊業、不動産業、飲食・サービス業、人材サービス業 など

